

令和6年度「全国学力・学習状況調査」の結果概要について

日向市教育委員会

文部科学省は令和6年4月に、小学校6年生及び中学校3年生を対象に、「教科に関する学力調査（国語、算数・数学）」と「生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査（児童生徒質問紙調査）」を実施しました。

この調査は、国や各県及び市町村教育委員会、各学校が、児童生徒の学力や学習状況を把握・分析した上で成果と課題を検証し、今後の教育指導の一層の充実や学習状況の改善・充実を図ることを目的としています。

1 調査内容

教科に関する学力調査 出題内容 【対象教科】 国語 算数・数学	<ul style="list-style-type: none">○ 身に付けておかなければ、後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり、常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等○ 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て、実践し、評価・改善する力等
児童生徒質問紙調査	<ul style="list-style-type: none">○ 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

2 本市における学力・学習状況調査の結果概要

(1) 「教科に関する学力調査」の結果概要

① 小学校

○ 国語科、算数科それぞれの正答率において、県平均・全国平均を上回る結果を示すことができた。

教科	全国と比較して特に良好な内容	全国と比較して特に課題と思われる内容
国語	<ul style="list-style-type: none">○ 資料を活用するなどして自分の考えが伝わるように表現を工夫することができる。○ 語句と語句との関係の表し方を理解し、使うことができる。○ 漢字を文の中で正しく使うことができる。	<ul style="list-style-type: none">● 登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉える。● 人物像を具体的に想像する。
算数	<ul style="list-style-type: none">○ 問題場面の数量関係を捉え、式に表すことができる。○ 立体の見取り図について理解し、描くことができる。	<ul style="list-style-type: none">● 速さの意味について理解する。● 必要なデータを取り出して、落ちや重なりがないように分類整理することができる。

② 中学校

○ 国語科の正答率は県平均と同じ結果であったが、全国平均はやや下回った。
数学科の正答率は県平均及び全国平均を下回る結果であり、課題が多く見られた。

教科	全国と比較して特に良好な内容	全国と比較して特に課題と思われる内容
国語	<ul style="list-style-type: none"> ○ 話し合いの話題や展開を捉えながら、他者の発言と結び付けて自分の考えをまとめることができる。 ○ 文章に即して漢字を正しく書くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 我が国の言語文化（古典・書写等）に関する事項を理解する。 ● 文章と図とを結び付け、その関係を踏まえ内容を解釈する。
数学	<ul style="list-style-type: none"> ○ 正答率は全国に比して全般的に課題があるが、無答率が低く、粘り強く問題に取り組もうとする姿勢が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 連続する2つの数を文字を用いた式で表す。 ● 目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりする。 ● 筋道を立てて考え、証明する。

(2)「学習習慣や生活習慣等に関する学習状況調査」の結果概要

① 小学校

全国と比較して特に肯定的な回答が多い内容	全国と比較して特に課題と思われる内容等
<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分と違う意見について考えるのは楽しいと思う。 ○ 地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う。 ○ ICT 機器を活用して、友だちと協力しながら学習を進めることができたり、楽しみながら学習を進めることができたりしている。 ○ 授業で学んだことを、次の学習や実生活に結び付けて考えたり、生かしたりすることができる。 ○ 国語や算数の学習が好きであり、授業の内容もよく分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる。 ● PC・タブレットなどの ICT 機器をよく使用している。 <p>※ 算数科の問題の解答時間が不足したと答えた児童が多かった。</p>

② 中学校

全国と比較して特に肯定的な回答が多い内容	今後の課題となる内容等
<ul style="list-style-type: none"> ○ 朝食を毎日食べている。 ○ 人が困っている時に助けている。 ○ いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う。 ○ 地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う。 ○ 道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいる。 ○ 数学科の授業は大切だと思う。 ○ 数学の授業で学習したことは、将来社会に出たときに役に立つと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っている。 ● 困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる。 ● 国語科の授業で、説明的な文章を読み、目的に応じて必要な情報に着目して要約し、内容を解釈している。 ● 原稿などの準備をすることなく、(即興で)自分の考えや気持ちなどを英語で伝え合う活動が行われている。 ● スピーチやプレゼンテーションなどまとまった内容を英語で発表する活動が行われている。 <p>※ 国語科・数学科の問題の解答時間が不足したと答えた生徒が多かった。</p>

3 現在の取組

- 「主体的・対話的で深い学び」の視点からの中学校区ごとの授業改善の取組によって、子どもたちが自ら学びに向かう力を育むようにしている。
- 全国学力調査やみやざき小中学校学習状況等の問題を分析し、課題に対応した学力向上の取組を学校ごとに行っている。
- 各教科等の授業において、「根拠を明確にして、自分の考えを書く」活動をできるだけ多く取り入れるようにしている。
- 日常的に ICT 機器を活用し、子どもたち一人一人が自分のペースに合わせた個別最適な学習を行うとともに、自他の考えを共有しながら協働的な学習が充実できるような授業づくりを行っている。